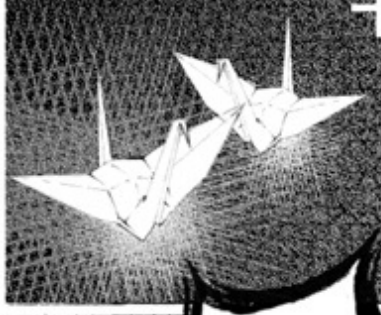


千の鶴の願い



もしもし

交通事故だ！

なに？





そう

あの日から

私は隣の人たちを失うのが怖い

あたしは今

君のために何ができるの？

私は知らない——

よく寝ている君——

まるで昼休みのように——

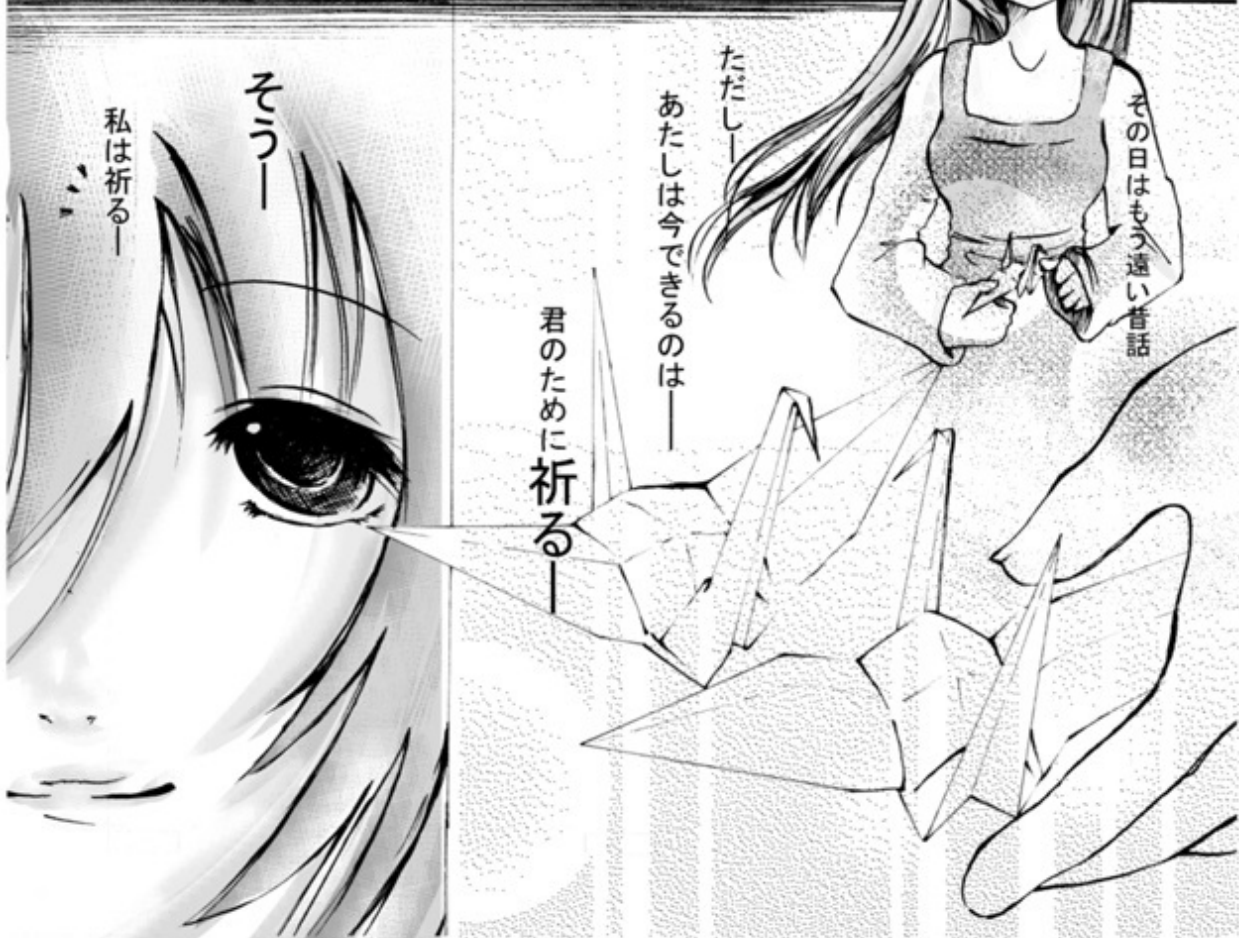
すぐ目を覚ますだろう

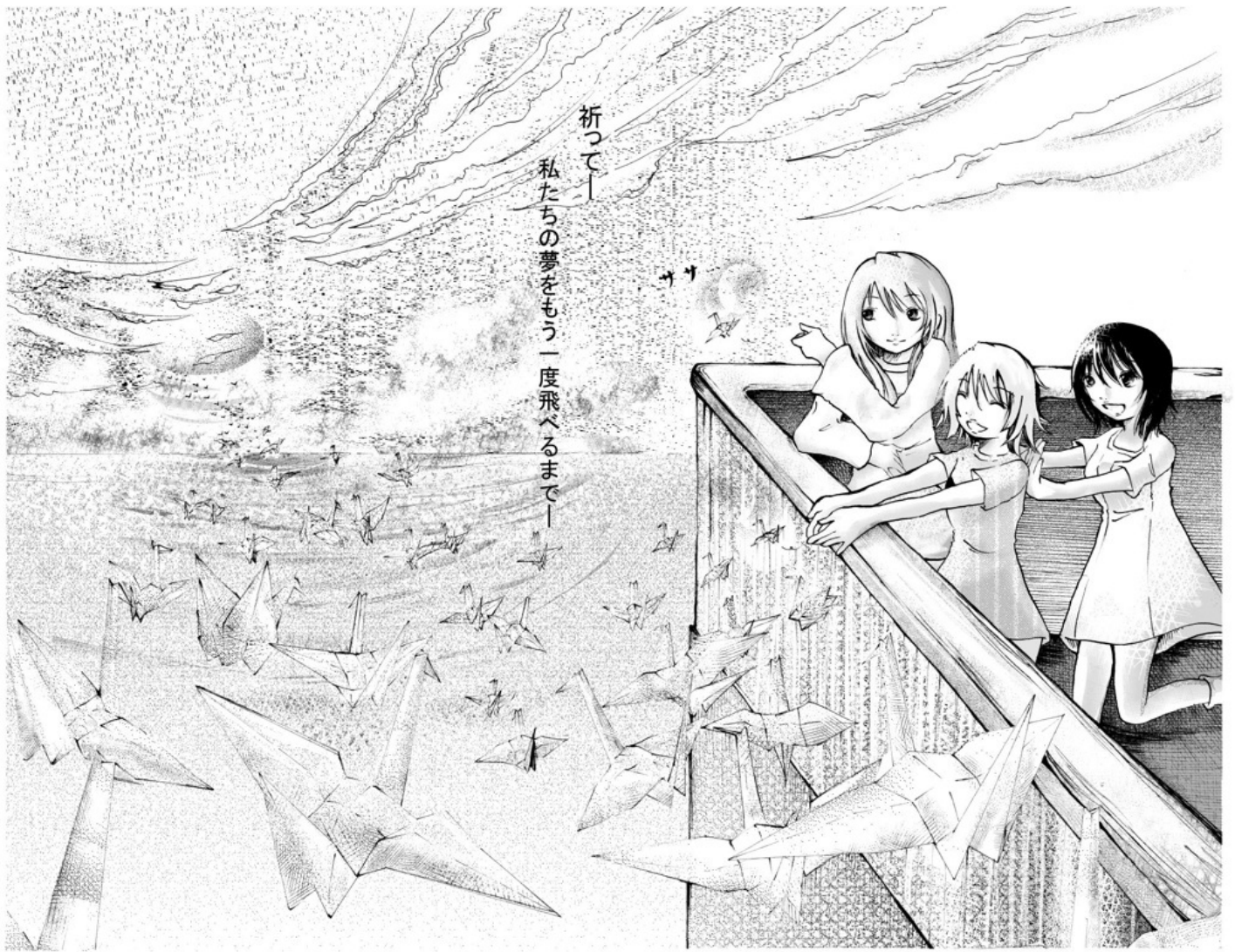


君を見て

高校の思い出が思い出す

ふっ





祈ってー
私たちの夢をもう一度飛べるまでー

祈って—
君が再び笑えるまで—

